

ふるさと 通信員だより

vol.214

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域の話題を紹介します。なお、町では通信員を募集しています（活動はボランティアでお願いしています）。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係（内線216）にご連絡ください。



南中土幌神社（金山昇次総代長、112戸）で、地神祭が厳かに執り行われました。当神社は1903年（明治36年）に創建され119年の歴史を誇ります。神社境内に祀られている地神石柱の祭壇に、尾頭付きのタイやお神酒、野菜、果物などが豪華に供えられた神前で、佐々木敬宮司が祈禱をし、春の社日の五穀豊穣と皆の無事故、地域の発展を願い、参詣者12人は心を込めて玉串を奉天しました。地神祭は春の豊作を祈る祭りと、秋の社日に収穫を感謝する祭りを毎年2期に分けて執り行っています。



たかだ てつこ
高田徹子 通信員

五穀豊穣を願う 地神祭



宇佐見雅人さん、隼人さん（6歳・中鈴蘭）はこの春、小学1年生になりました。2人は小学生になったら姉の凜さん（12歳）と兄の颯汰さん（8歳）と一緒に空手を始めると決めていました。雅人さんは「たくさん遊び、空手も頑張りたい」、隼人さんは「勉強も頑張りたい、強くなつて仮面ライダーバースになりたい」とそれぞれの目標を話してくれました。保護者の夕香里さんは「不安はあるが、新しい友達をつくって楽しく学んで欲しい」と1年生になった2人のお子さんへの想いを話してくれました。

1年生のみなさん！自分の好きな事、やりたい事が見つかるといいですね。



いしだ ひろよ
石田尚世 通信員

1年生になったら